

○人格の完成、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民

校訓：学校教育目標（目指す生徒像）

自主：自らよく見、深く考えて学び、確かな学力を身に付けられる生徒（深い学び）

自愛：自己を見つめ、思いやる気持ちを持ち、協働できる生徒（対話的）

自省：自己を振り返り、心身共に健康で、主体的に判断できる生徒（主体的）

令和7年度 学校教育活動キーワード

『主体的に考え抜き行動できる生徒の育成』 ～みんなが楽しいと思える学舎づくり～

○重点1 「わかりたい」「できたい」と思える授業の構築による家庭学習の定着（学力向上）

○重点2 正しく行動できる心理的安全性が保障された学校づくり（充実した生活）

○重点3 全家庭・地域、小学校との連携強化（地域社会への影響力）

＜育成を目指す資質・能力＞

特別活動(学級活動・生徒会活動・学校行事等)		
対自己領域	多様な他者と協働する力 様々な集団行動の意義を理解する力 集団行動の仕方を身に付ける力	協働力 意義理解力 実践力
対他者領域	集団や自己の生活、人間関係の課題を見出す力 話し合いによる合意形成する力 話し合いにより意思決定できる力	課題発見力 合意形成力 意思決定力
対社会領域	集団や社会の生活や人間関係をよりよく形成する力 人間としての生き方について考えを深められる力 自己実現を図ろうとする態度	生活・人間関係向上力 思考深化力 自己実現への態度

道徳・総合・教科で育成を目指す資質・能力

【知識・技能】の習得 何を理解しているか、何ができるか	各教科の基礎的・基本的な知識・技能
【思考力・判断力・表現力等】の育成 理解していること・できることをどう使うか	問題発見・解決の力 協働的問題解決の力
【学びに向かう力・人間性】の涵養 どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか	メタ認知 人間性等

具体的方針

- (1) **教科指導**（基礎学力の定着・向上、主体的・対話的で深い学び）
 - ・「目的（何のために学ぶか＝身につける資質・能力）」「目標（何ができれば良いか＝評価）」
 - ・R80等の活用～表現力と論理的思考力の育成
 - ・個別最適な家庭学習の習慣化及び質・量の向上
 - ・効果的・効率的なデジタル学習基盤の活用
 - ・基礎学力の定着・向上と見方・考え方を働かせた質の高い探求的な学習
- (2) **道徳教育**（豊かな心の育成、主体性の育成）
 - ・考え、議論する道徳授業による多面的・多角的な考える力の育成
 - ・正しい選択・判断、行動ができる力の育成
- (3) **総合的な学習の時間**（3年間を見通した体系的な指導）
 - ・小学校と連携した質の高い探求的な活動
- (4) **特別活動**（社会性・主体性の育成）
 - ・自己有用感を高める肯定的な支援・指導
- (5) **特別支援教育**（個に応じた指導）
 - ・小学校・家庭と連携した個に応じた特別支援教育
 - ・全教職員の共通認識を図る取組
- (6) **生徒指導**（主体性の育成、心理的安全性の保障）
 - ・心理的安全性を保障した学校環境の整備
 - ・傾聴による信頼関係のもと、個性・長所を伸ばす足並みの揃った生徒指導
 - ・Jokeを活用した全教職員によるきめ細やかな生徒観察